

【長距離カーニバルにおける新型コロナウイルス感染症対策について】

1 会場への入場を認める者

- (1) 大会関係者、選手、顧問（外部指導者を含む）、来賓など。
- (2) 秋田陸上競技協会から入場を許可され、入場許可証を持っているもの。（報道関係者等）

*出場する選手においては、受付時に選手一人に対して入場許可証を2枚発行する。その入場許可証がないと競技場及びスタンドに入れない。特に小学生の保護者はその入場許可証がないと招集時に付き添えないため必ず入場許可証をもらうこと。

- (3) 上記以外は入場を認めない。また、今後の感染状況によっては無観客とする場合もある。その際にはどのように対応するか出場チームに連絡する。

2 会場への入場を認められない者

以下の事項に該当する者は会場への入場を認めない。

- (1) 原則、一般の観戦者は応援者スタンド、競技場への入場は認めない。
- (2) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある者。
- (3) 37.5℃以上の発熱と味覚・嗅覚異常、強い倦怠感等の症状が出た者。同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合。

3 感染防止について

【全体】

- (1) マスクの着用を徹底する（競技中の選手は除く）。
- (2) こまめな手洗いを行う。
- (3) 会場内のゴミ箱の使用を禁止し、ゴミは必ず持ち帰る。

【大会関係者】

- (1) 感染防止のために遵守すべき事項を整理し、適切な場所に掲示する。
- (2) 遵守事項が守られているか、会場内を巡回する。

【選手・監督・引率責任者】

- (1) テント等を用いる場合は室内の換気を徹底する。常時開放ができない場合は一定時間ごとの一斉換気を実施する。
- (2) 素手の「握手」「ハイタッチ」「肩を組む」など、競技以外の身体接触はしない。
- (3) 会場等で急に風邪症状の児童・生徒が出た場合は、大会本部に連絡のうえ帰宅する。

4 記録会前に学校内で感染が判明した場合

- (1) 学校長から必ず参加の可否を判断してもらう。

5 大会開催期間中に感染が判明した場合

- (1) 大会開催期間中に感染が判明した場合は、競技を競技の可否を主催者側で判断する。
- (2) 該当競技参加者が保健福祉事務所などの聞き取り等に協力し、その指示に従うとともに、感染拡大防止に努めるよう指導する。

6 保護者(応援者)へのお願い

- (1) 選手の受付時に入場許可証を必ずもらうこと。応援場所は、正面スタンドに限る。
- (2) 朝に検温をして発熱がないことを確認し、体調不良等があった場合は応援を控えること。
- (3) 応援時の密を避け、大声での声援は慎むこと。